

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第96回 「兄弟げんかへの対応」

こころの相談員 小林 節子

「子どもの兄弟げんかが激しくて困っています。どう対応したらいいですか。」という相談をよく受けます。基本的に、兄弟げんかは起きて当然。しかも、子どもが健全に育つ過程でむしろ必要不可欠といえます。なぜなら兄弟げんかをしながら、仲直りの仕方、譲り合い、弱い立場のものに対する思いやり、年上に対する憧れ、競争、我慢することなどの、人間関係力を学べるからです。少子化の現代にあっては、教育の現場で意図的に異年齢集団の交流の場を設けて、上記のような本来兄弟間で学べることを経験できるようにしているほどです。

ですから、兄弟げんかに対して、親がそれほど神経質になることはないでしょう。

とはいっても、あまり激しいけんかを見ては、つい介入したくもありますよね。

そのときに気をつける点としては、「お姉ちゃんだから、お兄ちゃんだから」と、つい上の子だけを叱りがちにならないように。子どもは自分が公平に扱われているかどうかについてはきわめて敏感です。

どうしてもけんかを減らしたい場合は、けんかばかりしているように見えても、実は仲良くしている場面もあるはずですから、そんなときにすかさずほめることが大切でしょう。

また、「どうしてけんかばかりするのよ」と叱るより、いつもこの欄で紹介する（アイメッセージ）を使って「あなたたちがけんかばかりすると、お母さんは悲しいわ。」と、親が自分の感情を訴えるほうが効果的かもしれません。

11月活動報告

11月3日の文化祭に学童保育から作品を出展しました。

少しづつ、みんなで協力して、大きな作品を仕上げることができました。

